

委員会報告

総務委員会

委員長 平川 昌宏

会員の皆様がたにおかれましては、平素より当協会の理念、またその活動にご理解いただきまして誠にありがとうございます。

ここで、総務委員会の主だった業務報告をさせていただきます。

今年度も、4月2日～4日開催の千葉県建設業団体連合会主催新入社員研修会への参加をはじめ、8月7日には造園課程を置く高校、専門校との雇用問題の情報交換会の開催、9月2日行われた千葉県震災訓練への参加及び、協会独自の災害情報伝達訓練の開催、9月25日には震災訓練の施工業者、班長による訓練報告と、その改善を目的とした合同会議の開催、同日には専門講師をお呼びしての実務者セミナーも開催致しました。12月5日は協会員の親睦を図る為のゴルフコンペの開催、12月8日は忘年会を開催するなど多岐にわたっております。会員相互の親睦の為にもこういった機会を有効に活用していただき、造園業界の益々の発展の為皆様とより親交を深めたいとおもっております。

また、会員の皆様より行事に対するご意見、ご希望ございましたら参考に致しますので遠慮なく協会まで連絡いただきたいと思います。

これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

事業委員会

委員長 浮ヶ谷 容徳

令和7年度の事業委員会の活動について、ご報告いたします。

○ 県との意見交換会について

この事業は、我々造園業界の状況や要望を県の関係部局幹部の皆様にご直接届ける場として毎年開催しています。

本年度は、9月4日に千葉市のホテルプラザ菜の花で、会員皆様から頂きました要望・質問事項をまとめた要望書を元に、協会役員等16名と県からは都市整備局長をはじめ14名の県職員の方に参加していただき、活発で有意義な意見交換の場となりました。

今後も引き続き様々な機会をとらえて、造園業界の発展のために県当局に質問意見を述べて行きたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

○ 造園課程を置く高等学校との情報交換会

この事業は、将来の業界を担う人材育成を目的として、学校関係者、県当局を交えて毎年行っている情報交換会です。

今年度は、8月7日千葉市の千葉県建設業センターで、協会役員等15名と県学校関係者、成田西陵・茂原樟陽・薬円台・我孫子テクノスクール（教諭）5名と県庁商工労働部雇用労働課、県土整備部建設・不動産課、県教育庁学習指導課の担当職員3名が参加しました。

はじめに協会側から「後継者育成に係る協会の主な事業」の内容について説明を行い、その後学校側から出前授業、校外授業等についての要望、造園会社への就職状況、本年度の求人情報の提供などが出されました。これらの後継者育成に関し幅広い情報交換を行いました。

○国際園芸博覧会千葉県屋外庭園出展への技術支援活動

今年度、2027年（令和9年）に神奈川県横浜市で開催（2027年3月19日～9月26日）される国際園芸博覧会に向け、県による屋外庭園出展を官民学連携の方針に基づいて千葉大園芸学部が作成した屋外展示のコンセプト・イメージ図を元に、技術委員等が作業分担して、配置図、基盤平面図、施設平面図、設備平面図、立面図、植栽図、スケッチ図などの基本設計作成業務に協力しています。

○門松づくり講習会

協会員の皆様に、伝統技術の継承として始まった本格的な門松づくり講習会。今までに数多くの協会員の皆様が参加していただき、それぞれの会社でも年末に製作しているとの声も聞くようになりました。

今年度も、協会員の皆様が講習を通じて作り上げられた門松は、県庁及び千葉県こども病院、千葉リハビリテーションセンターに3門の門松を寄贈させていただきました。それぞれの寄贈先において、門松設置の際には温かい喜びの声と感謝の言葉をいただいております。

また、一般の方々へのミニ門松づくりは、昨年度同様たくさんの方々に参加していただきました。少しでも多くの方々が伝統文化へ触れる機会を増やしていけるよう、協会員の皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

○魅力発信講座

当講座は、県内の小学校、中学校、高等学校（造園科のある高校）、サポートステーションにおいて、ものづくりの魅力を教えることで日本の伝統技術伝承を目的としています。

今年度は、千葉仕事プラザで38人の小中学生に対してコケ玉教室を開催しました。子ども達に好きな植物を選んでもらい作成に入りました。コケ玉作成中には私達造園業者が実際に行っている根巻きの技術を体験してもらいそれぞれがガーデンピック（小鳥のオブジェ）を思い思いのものを選びどこに設置したらコケ玉がより良くなるかなど沢山考え設置したことでオリジナリティのある作品になりました。

当講座を通じて、受講者の皆さんが職業を選択する際に、自然の中で緑と触れ合う造園業という職を選択肢の1つにしていいただければ幸いです。

広報委員会では、ちばの緑の発行を初め協会広報、パンフレット作成及びホームページによる広報活動をしています。また、広報活動の一環として小・中学校への出張授業を委員会より講師を派遣し、造園業に関心を持っていただき、造園の仕事を理解して頂くようにしています。出張授業では、造園業だけで1～2時間の授業になり公園ができるまでや、女性でも活躍できる仕事内容、日本庭園、インクルーシブ公園、バラの品種改良など造園技術について説明し熱心に聞き入っていました。ちばの緑は、協会事業の取り組みや、参考になることが掲載されています。会員の皆様に事業につながればと思い、そして協会活動や、広報活動でわかりやすく紹介できるよう努めてまいります。お気づきの点や有益な情報などがございましたらどうぞ、お知らせ下さい。

実技試験（製作等作業試験）は令和7年7月26日・27日の2日にわたり千葉県立我孫子テクノスクールで実施しました。判断等試験（要素）は8月29日に、学科試験は8月24日にちば仕事プラザで実施しました。

真夏の蒸し暑い中で実施されるため受験者には大変な実技試験となってしまいます。試験には制限時間等があり、正確、時間、体力、気力が一つでも欠けると合格出来ない試験です。

造園技能検定推進委員会では100%の合格者を目指し対策講習会も実施しています。

製作等作業講習会では、技術を持つ講師が受講生に基本から親切丁寧に講習をし、パワーポイントを用いて製作順序や注意点も詳しく教え、指導を行っています。

また、判断等講習会（要素）では、実際に樹木の枝葉を見て試験さながらの講習をしています。

学科講習会では、過去問を厳選し講習しています。

講師の方々には大変ご尽力をいただき、千葉県の造園に対する知識、技術向上を目指していただきたいと思います。

今後、造園技能士を受験される方は、ぜひとも講習会の受講をお勧め致します。